

平成 24 年度 新潟市新津鉄道資料館活性化検討委員会 会議録

- 日時：平成 24 年 7 月 23 日(月)
- 会場：新津地区公民館 301 研修室
- 参加者：新津鉄道資料館活性化検討委員会 金山委員，佐藤委員，里見委員，南雲委員
新津鉄道資料館活性化検討委員会事務局 羽生秋葉区長，倉地歴史文化課長
拝野歴史文化課課長補佐，歴史文化課 水澤，文化政策課 狩谷 (以上 9 名)
- 傍聴人： 2 名
- 資料配布：新津鉄道資料館の今後の運営方針(案)
別紙：国内の主な鉄道展示施設リスト
- 意見聴取 1)新津鉄道資料館活性化基本計画の運営方針
2)新津鉄道資料館の事業内容
(事務局から案件の概要説明し，その後意見聴取を行った)

拝野補佐	歴史文化課拝野でございます。よろしくお願ひいたします。開会に先立ちまして新潟日報社より写真撮影の申込みがございます。これを認め許可して宜しいでしょうか。
委員一同	よろしいでしょう。
拝野補佐	はい，それでは撮影を許可いたします。開会にあたりまして歴史文化課長倉地よりご挨拶を申し上げます。よろしくお願ひいたします。
倉地課長	本日はご多用の中，また暑いところ遠路，お運びいただきまして誠にありがとうございます。前回の委員会では鉄道資料館の現状と評価を踏まえまして今後のミッションと運営方針について協議いただきました。本日はミッションと運営方針に基づきまして運営方針の具体的な内容と実施する事業の案に付きましてご提案を申し上げましてご意見を頂きたいと思ひます。短い時間ではございますけれども活発なご討議を頂きたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。
拝野補佐	本日の委員会の日程ですがお手元の次第に基づき進めさせていただきます。午後3時には終了とさせていただきますと思ひます。よろしくお願ひいたします。それでは，早速協議に入ります。
金山座長	金山座長，よろしくお願ひいたします。皆様，今日はお忙しい所お集まりいただきありがとうございます。今日は2回目の検討会でございます。よろしくお願ひいたします。今日の次第はお手元に有りますように協議事項ということになっておりますがそれは事務局から説明をよろしくお願ひいたします。
事務局:水澤	それでは，私から説明をさせていただきます。今日皆様からご意見を頂戴したい点は2点ございます。1点目は，第1回の検討委員会でご意見を頂きました資料館の運営方針についての変更と追加の提案がありこの点についてご意見を頂きたいと思ひます。2点目については先回ご意見いただきました運営方針の内容と事業内容に付きまして皆様からご意見を頂戴したいと考え

	<p>ております。よろしくお願ひいたします。</p> <p>1点目の運営方針の変更の部分と追加の部分についてご意見を頂戴したい点を説明させていただきます。お手元の資料の横長の資料に鉄道資料館活性化基本計画のミッション・運営方針・事業内容、カッコ案という資料をお付けしてございますが、一番左側のミッションの(1)交流人口の拡大と地域の活性化を図ります運営方針の②の点です。先回は魅力あるアクセスの向上を図るということでしたけれども、アクセスですとパソコン等でのアクセスも考えられるということでしたので、追加で交通という言葉を入れさせていただきましたがいかがでしょうか。</p> <p>次にミッションの(2)鉄道文化の発信拠点にしますという点で2ページ目になりますけれども、先回の検討委員会では新たな鉄道技術の紹介をおこなうということでしたが、皆様からもご指摘いただきましたとおり「新たな」というとリニアモーターカー等最新の技術も入っているという風に捉えられるのではないかとご意見もありましたので、事務局の方で後日、再提案するということでした。提案としましては鉄道技術の紹介を行うということで「鉄道」に変えて提案させていただきます。</p> <p>次からは追加になります。(2)の④新たな鉄道ファンを獲得していく、として入れさせていただいております。運営方針の中には具体的に誘客誘導うんぬんという話しが出ておりませんでしたので、やはり鉄道資料館のリニューアルの大きな目的としては大勢の方から新潟の魅力を知って頂いて鉄道の資料館に来て頂くということが大きな目的になろうかと思っておりますので、これを新たに運営方針の中に追加していくということでご意見を頂戴出来ればと思っております。で、変更の最後になりますが(3)人づくりと地域の連携による事業を展開しますの(3)の③こちらも追加になります。先回の第1回目の会議の中でやはり人づくりということで、インプットとアウトプット事業をきちんと運営方針の中に入れるべきであろうということでご意見を頂戴しておりましたので追加の提案をさせていただきたいと思っております。③鉄道と地域文化の人づくりを行うということで仮称で入れさせていただいております。</p> <p>1つ目のご意見を頂戴したい点に付きましては以上でございます。</p> <p>はい、ありがとうございます。前回、運営方針それからミッションについて我々も検討いたしまして、今提案でしょうか、会議の時にも一部修正ということでした。事務局でまとめ直していただいたということで再提案いただきました。これについてはいかがでしょうか。まず、追加としてはミッションという所では2番目で次のページの所の④に新たな人を獲得して行く所、仮称となっておりますがこの辺が追加になったということで提案いただきました。それから、(3)のミッションで③のこれは南雲委員からの提案があった、というものを入れ込んだのですが、鉄道と地域文化の人づくりを行う、これも仮称となっておりますが特にこの点について委員の皆様いかがでしょうか。ご意見をいただきたいと思っております。</p> <p>(2)の④新たな鉄道ファンの獲得のファンの方はどの様な方でしょうか。どういう認識の人でしょうか。どういうレベルの人ですか。鉄道ファンというとコアな人という連想がありますが、今現在のファンというよりも鉄道に触れていただける方々を獲得して行くというニュアンスで感じていただければと思っております。</p> <p>少し鉄道に関心を持つという方を増やしたいということですか。</p>
金山座長	
佐藤委員	
事務局:水澤	
佐藤委員	

事務局:水澤	<p>そうですね。鉄道文化というジャンルに付いては実は新潟県内では紹介する施設がほぼない状態です。全国的にみても施設が60箇所の鉄道文化施設がある訳ですが逆に言えば全国で60施設しかない訳ですから、色々な方々から元々鉄道に興味がある方も含めて今興味がない方も新たに触れることによって鉄道ファンになって興味を持っていただければと思っています。</p>
金山座長	<p>鉄道ファンというとコアな人ですね。</p>
事務局:水澤	<p>もうちょっとニュアンスを変えると例えばどんな風にしたらよろしいでしょうかね。</p>
佐藤委員	<p>鉄道文化に関心を持つ人とか、鉄道についての関心を深めるとかという風な。</p>
金山座長	<p>出来ればそういうことだろうけどコアな人も増えてもいいわけですね。両方向か含めて何か言葉があるのかな。普通鉄道ファンというとコアな人々を私は、イメージしますね。たとえば鍵カッコで鉄道ファンというの意味がありますね。</p>
佐藤委員	<p>鉄道マニアというとオタク的に解釈し、イメージも具体的になるかと思いますが。</p>
金山座長	<p>一般の人には鉄道ファンと言った方が響きは良い様な気がします。</p>
事務局:水澤	<p>言葉は短く、簡潔になると鉄道ファンですか。</p>
金山座長	<p>響きは良いですがね。佐藤委員は、専門的な立場としてですが。南雲委員は、いかがですか。</p>
南雲委員	<p>私も今佐藤委員の意見を伺うまで鉄道ファンがコアな人を指すとは気が付きませんでした。</p>
金山座長	<p>鉄道ファンと聞いた時に南雲委員は、どういう方をイメージしますか。</p>
南雲委員	<p>私は、一般人向けなのかなと思いました。で、なるほどコアな人を指すかと思いました。</p>
金山座長	<p>何も問題が無ければそれでかまいませんよ。</p>
南雲委員	<p>そのコアな人達は、鉄道ファンと言われると俺達のことかと思いますが。</p>
金山座長	<p>もう少し踏み込んで鉄道マニアという人もいます。</p>
佐藤委員	<p>鉄道マニアならコアというのも分かりますよ。この館に鉄道雑誌が有りますが。</p>
金山座長	<p>鉄道雑誌が有りますね。鉄道ファンという雑誌は有ります。それは、マニアの人達。佐藤委員は、良く知っているからそれでイメージするし、それを知らない南雲さんの様な一般の方はあまり違和感が無いということですね。はい、里見委員。</p>
里見委員	<p>私は、佐藤委員のご意見に同調しますけどね。鉄道に関心を持つ人達を獲得していくというような表現の方が良いかなと思っています。</p>
金山座長	<p>新たな鉄道に関心を持つ人達を獲得していくということですか。</p>
里見委員	<p>そうですね。</p>
事務局:水澤	<p>言葉としては逆の方が良いのではないのでしょうか。鉄道文化に関心を持つ人達を新たに獲得していく。新たなと入れると新たな鉄道文化を獲得していく。</p>
金山座長	<p>意識しているところは同じであると。右の方のところには活着ているということでよろしいでしょうか・・・内容としては運営方針の内容と整合はするし後は(3)の③の地域文化と人づくりを行うということで如何でしょうか。こういう位置づけになります南雲委員はいかがですか。</p>

南雲委員	はい、ありがとうございます。
金山座長	シティガイドが良いかどうか、ガイド事業をする会もありますしね。
南雲委員	新津には鉄道OBの方が大勢いらっしゃるということなので知識もあり時間もある、家の中では口うるさいおじいさんの的な感じの人達には是非表舞台で活躍していただきたいと思っています。
金山座長	シティガイドでよろしいですか。
南雲委員	はい。
里見委員	文化施設ではインタープリターといいますよね。そういう方が良いのではないかと思いますがいかがでしょうか。
金山座長	インタープリターは一般用語としてあまりどうかと思います。ガイド・ボランティアとかガイドというのは全国に千六百ほどあります。だからインタープリターなのかシティガイドなのか、ボランティア・ガイドなのかはあとで出てくるでしょうがガイドと言う方が社会的には通りが良い。インタープリターというと誰がインタープリターだとその本人たちが違和感を持つわけです。
里見委員	観光課が産業遺産によるまちづくりを各地でやってそこでインタープリター事業をいわゆる各ボランティアが養成講座を受けて翻訳をしていくという意義を伝えていく。そういうのもあるのですが、座長のおっしゃるようにガイドが一般的で組織も全国的にも認識しやすいことであればまたそれはそれでも良いかと思います。
金山座長	富岡の製糸工場のボランティア・ガイドがおりますので世界遺産の登録に向けて活動していますね。
佐藤委員	そういう形であればシティガイドが良いですね。
金山座長	自然系ではどうですか。
佐藤委員	自然系は自然を追いかけて表現する。今は町なかの産業遺産にも使われ来つつあるようです。
金山座長	南雲委員その辺はどうですか。
南雲委員	発足した時にガイドなりインタープリターの人達の中でまた団体名として新たなものを付けていければ良いと思います。インタープリターが良いのかガイドが良いのか分からないですが発足した人達でネーミングは付けていければ良いと感じます。ここでは、どちらでも良いという感じがしています。
金山座長	なるほど、要は市民にこれを示した時に、市民がこれでガイドと分かるのかインタープリターということで分かるのかという次元の問題ですね。そう言った意味ではガイドと言った方が分かり易い。それは、南雲委員が話された様にインタープリターでも良いですが。
佐藤委員	佐藤委員は、いかがですか。 個人的には全体に言えることですがカタカナを使わない方が良いと思っているんですね。人によっては受け止め方が違って来ます。一般的にはあまり名称にはこだわらず、たとえば解説員がよければ解説員と言う所も有りますから、やっていく中で出てくると思います。南雲委員のご発言のように説明をしていく中で結論は出てくると思います。この段階ではどの様なことをする程度を明確にするのが良いと思います。

金山座長 南雲委員	はい、ガイドということではよろしいですかね。シティガイドで。 どうでしょうか。私は、ガイドというと色々ですよ。解説員とか案内人とかの方が良いです。
里見委員	解説員ですか。
金山座長 事務局:水澤	解説員だと街を解説するって言いますか、街を案内するって言いますか。 事務局としてのイメージは施設の中だけでなく駅を降りられた方が新津ってどんな町だろう、あるいは鉄道の街って言う新津の良さってなんだろうか、歴史はどうか、そういった所からそこからスタートさせるというイメージです。駅から施設まで20分ゆつくりと歩きながらいろんな話をしつつ資料館に着くと、資料館の説明も出来て一緒に入って少し資料の説明が出来るレベルを考えていました。あとは、資料館の中にも解説員とか別のボランティアさんがいらっしゃるとかで、どちらかと言うと、鉄道のまち新津を説明してくれて歴史も教えてくれるイメージの事業案でした。もちろん資料館の資料や建物自体の説明ガイドをして下さる方も同時にシティガイドとして養成したいと思っておりました。ガイドを大きく分けてシティガイドと施設ガイドの二種類あるというイメージでした。
金山座長 事務局:水澤	今の件は後でもう一度聞きますけれども二つの区分けですね。
金山座長 南雲委員	そうですね。 これを総称して何と言うかでしょうね。 私は、市町村のボランティアガイドさん達の会に講師として呼ばれて行っています。解説員が良いなと思ったんですけども、やっぱりガイドの方が良いと思います。シティガイドさん方々の年代は60代が中心です。男性が多くてすごく真面目で、特に解説好きですね。これから、新たな鉄道の関心を持つファンを増やして行くこととなった時に、解説員ですとコアな人や鉄道マニアの人達と解説員があまりに詳し過ぎるとトラブルになる可能性がありますね。長岡に良寛さんのガイドがあるんですが、良寛さんはものすごくファンが多くてガイドも物凄く良寛さんが好きでガイドとお客様が喧嘩になるということが有りますね。あなたはそう言うけれどもその情報は私のところには無い、いや本には書いて有ったと言ってです。解説員でなくてお客様と一緒に遊んで遊んで差し上げるというのが必要で、そんなに詳しくなくても知識は良いのです。解説する必要はなくて楽しく遊んで差し上げるという要素がガイドには必要と思いました。
金山座長	なるほど、喧嘩するのもお互いを知る上で大切なことだからそれだけコミュニケーションが深まったといことでしょうか。
里見委員 南雲委員	コアな人もいればそうじゃない人もいって出し惜しみしない方が良いかな。 あまり知らないお客さまにとってはガイドが詳し過ぎるとまたそれはきついです。各地のボランティアガイドの喋り過ぎの問題が出てきて、ガイドが気持ち良く話すことでお客様に非常に伝わり難いという喋り過ぎの問題点があります。
金山座長 事務局:水澤	それはガイドの会の会のマネージメントの在り方ですね。
佐藤委員	はい。
金山座長	意見を言わせていただけますか。
	はい。

佐藤委員	(3)の③の鉄道と地域文化の人づくりというのが分かりづらい気がしたので、鉄道文化文と地域化を伝える人々とか鉄道文化と地域文化を担う人々とそこまで踏み込んで書いた方が良いような気がしますけれどもどんなものでしょうか。
事務局:水澤	ガイドの問題もはいます。
金山座長	鉄道文化と地域文化を伝える人づくり。伝えるだけですか。
佐藤委員	趣旨は鉄道文化と地域文化が関わりあうということでしょうか。ガイドをするとわかりやすいかどうかということですか。
金山座長	それで、それをこちらの右の方で対応説明しています。シティガイドも今日これから提案してもらいますけれども、あと二つですね。まちなかのガイドとそれから資料館の友の会と示されていますが。鉄道と地域文化、鉄道文化は、鉄道文化と揃えたほうが良いかもしれませんね。
佐藤委員	鉄道と地域文化。様々な文化がある訳ですから地域文化で一括りなら分かります。鉄道と地域が文化に引っかけると鉄道と地域文化が分からない。地域文化と人づくりはなんだ、と考えたときに地域文化の人。
金山座長	鉄道文化と地域文化を伝えるだけじゃ無いですね。担ったり、育てたりですか。
佐藤委員	育てるといのはどうでしょうか。
金山座長	鉄道文化や地域文化を育てる人をうーん。育てると言うのは伝承になってしまうので広く言えば伝承になるか。いかがですか、良いご意見はありませんか。
里見委員	鉄道文化と地域文化を担う人づくりを行う。
金山座長	鉄道文化と地域文化を担う人づくりでいかがでしょうか。それなら良いでしょう。
事務局:水澤	分かりました。
金山座長	仮称は取って下さい。事務局2番目の提案よろしく申し上げます。
事務局:水澤	今ほど運営方針について協議いただきましたのでこちらを受けて具体的な事業内容を提案させていただきます。先ず(1)の①快適に過ごせる施設作りを行う点ですけれども、主な方針についてですが資料館の二階の空き部屋を活用しまして資料館のスペースを拡張したいと思っております。具体的には展示スペースであったり、パブリックスペースであったり企画事業が出来るスペースを確保していきたいと考えております。また、多数の市民が利用する公共施設である資料館として快適な環境づくりや、資料館として必要な施設を整えていきというのが方針でありまして、具体的な事業内容としましては5点です。利用者サービスコーナーを設置したいと考えております。説明欄にありますショップ、カフェ、休憩、インフォメーションコーナー等々を新たに設置していきたい。2点目は、キッズコーナーですね。幼児等が鉄道文化に親しみながら遊べる空間を作りたいと考えております。3点目は、空調設備の改善です。特にスペース拡充のスペースは空調設備が全くありませんから新設ということになります。4点目は、バリアフリー化になります。2階部分を使ってどういう風に活用して行ったら良いか考えていきたいと思っております。5点目ですが資料の劣化防止策。湿度・光等々の対する改善を行って資料の劣化防止に努めていきたいと思っております。
	(1)の②、魅力あるアクセスの向上を図ることが運営方針ですが、どこに在るか良く分から

ないと資料館に対して意見として出ておりまして、改修と交通手段を確保してきたいと思っております。また来たいと思ってもらえる地域のおもてなしを商店街や地域の人達と共に作り上げていきまして、こちらも含めての魅力ある交通アクセスの向上に努めていきたいと考えております。具体的な事業は3点ございます。駅からの交通手段を確保する。レンタサイクル・区バス・民間バス・シャトルバス等々の運行によりまして交通アクセスの向上を図りたい。2点目は駅付近の各種展示板の表示を新設したいと思っております。佐藤委員から駅を降りたところから資料館が有るのか行先も分からない、これも考えていきたいと思っております。3点目ですが主要幹線道路に誘導看板を新設していきたいと思っております。新津地区には国道が走っていますが、なかなか施設から離れた所に誘導する看板が無い、資料館の近くに来て始めて分かるという風なアクセスの仕方かと思ひましてこんな所を改善していきたいと思っております。

(1)の③鉄道文化の情報発信をするという欄ですが方針としましては、情達報伝の方法を広く見直して活用して行きたいということで情報発信を考えております。全国の鉄道文化施設との情報の共有とイベント等での連携と協力助け合いをやって行ければと思っております。駅前にサテライト施設を新設して資料館の情報を提供すると共に当面駅前での活性化を鉄道のまち、新津の町なか作りに務めていきたいと考えております。こちらについては4点提案させていただきます。1点目ですがホームページの作成とソーシャルネットワークの活用を考えております。鉄道資料館のホームページはあるのですが多分旧新津市時代に作られたのではないのかと思われますので作り直しです。情報を素早く流す。また、他の鉄道文化施設の市のホームページとリンクさせていきたいと思っております。2点目ですが鉄道雑誌や市の広報やマスコミを活用したいと思っております。企画事業・特別展示事業をやることによって色々な媒体を使って情報を伝えてもらえるのではないかと考えております。3点目ですが全国の鉄道文化施設との連携による効果的な情報の発信です。こちらは先程説明させていただきました。4点目ですが地元の人達から鉄道のまち新津の情報発信です。とにかく地元の人達が「おらがまちは鉄道のまち」「うちのまちにすれば鉄道の歴史を少し知る事が出来る」。一般の人も迎えられるお客様にたいして鉄道をキーワードにして情報を流していただければ良いのではないかと考えています。その為には我々から地元の人々に鉄道のまちは今こうなっている、資料館はこういう動きをしている、あるいは活動はこうだとお伝えすることは大切なキーワードになるような気がします。

金山座長

以上ミッション(1)の運営方針がありましてそれを受けて事業内容を落とし込みましたこわけです。れについて各委員からご意見が有りましたらよろしくお願ひいたします。

里見委員

①の資料の最後ですが資料の劣化のところですが湿度管理・温管理より温湿度管理の方が言葉としては良いでしょうね。それから、ホームページの作成の3の③ですけれども大概ホームページを作っても更新がされないと情報が古くて2度目にアクセスしても嫌になっちゃう。常に新しい情報が捉えられるという更新を手間暇は掛るんですけどもやっていくということですね。

金山座長

魅力的なホームページの作成・更新としましょうか。

事務局:水澤

はい、分かりました。

里見委員	キッズコーナーですけれども、ここには言葉として入れなくても良いとは思いますが。展示室から独立した場所に置かないと騒音などの影響を受けるので場所を展示室から離れたところを検討する必要があります。年齢制限は海外ではありますけれども、5歳以下という年齢制限を持っていますけれどもこの先の話になるかもしれません。具体的な話しですので。
金山座長	現状のレイアウトの話しになると思うので今後の確認でよろしいでしょうか。他にいかがでしょうか。
金山座長	③事業内容の2番目ですが鉄道雑誌や趣向本ですが鉄道雑誌や趣向本を活用しマスコミの強力を得るとした方が良いでしょう。鉄道雑誌や趣向本やマスコミを活用するのは言葉としてはあまり良くない。協力を得るにしてください。他にいかがでしょうか。はい、南雲委員。
南雲委員	③の「駅前にサテライト施設を設置し」は、今は無いんですか、駅前に案内所が無いということですか。無いから設置する訳ですか。
金山座長	これについては、事務局の方で説明をしていただけますか。
事務局:水澤	はい、そうです。南雲委員は、新津駅を降りられましたか。
南雲委員	私は、今日車で来ました。
事務局:水澤	そうですか。実は、駅前に観光案内所やまちなかを紹介するような所は観光地に行くと結構ありますが新津の駅前には無いです。昨年、にいつ鉄道商店街という事業を実施した時に2週間だけでしたが、駅前に設置をしたら多数の人々がまちなかの情報を得るということで寄って行かれました。また無いときにはどこに行ったら良いでしょうかと問い合わせを頂戴することもございました。観光案内所が有る時の反応と無い時の市民の方の反応を比較しますと、やはり駅前には必要ではないかと思い入れさせていただきました。駅前の公共施設は現在一杯で公共施設の中では少し難しく、出来れば民間の空き店舗等を活用して市で借り上げて鉄道資料館のサテライト兼新津地区の観光情報を発信する、そんな形でサテライトの設置が出来ればと思っております。
金山座長	ありがとうございます。場所についてはまだ検討中ということですね。こういう形で内容がここで位置付けば場所も・・・となろうかと思えます。他にいかがでしょうか。宜しいでしょうか。それではどうぞ次お願いいたします。
事務局:水澤	ミッションの(2)「鉄道文化の発信拠点にします」の①鉄道の“記憶”をたどる、ですが展示方法や構成を見直し、歴史と生活文化から見て記憶を呼び覚ますことで新津・新潟の鉄道資料館らしさを醸し出しながら、他の鉄道文化施設に無い個性的で魅力有る展示にしていきたいと考えております。具体的な事業は三つです。1つ目は昭和の新津駅の復元展示を行いたいと思っています。実物の資料が鉄道資料館には多いものですから、どこまで出来るかわかりませんが再現展示コーナーが出来ると思っております。新潟県内の私鉄が廃線になっております。具体的には新潟交通電鉄と蒲原鉄道。こちらのコーナーの資料も既存の資料館にもございますのでこちらのコーナーを展示していければと思っています。新津・新潟の鉄道の歴史と生活文化の展示ということで何故新津が鉄道のまちになったのか、新潟全体の鉄道の歴史とそしてそれにまつわる文化とか歴史の変遷などを紹介できればよろしいのではと思っています。その中でも物語が人それぞれの中にきつと根づいているでしょうから、そちら

も掘り起こしながら構成の中に組み込まれていければ良いかと思っております。

(2)の②魅力的なコンテンツづくりの展示を行う。資料館を愛好家だけで無く幅広い年齢層また家族連れにも来ていただいで楽しんでいただけるような資料館にしていきたいと思っております。その為にも新規展示品を導入と展示ブースの見直しもやっていきたいと思っております。具体的には4つです。1つは、シミュレーターを新規導入いたします。出来れば信越本線のシミュレーターですと良いのではないかと思っております。2点目は、鉄道映像の更新と新規導入です。モニターは今も有りますが更新が中々されていなくて、こちらの映像の更新あるいは設備の更新を新規に考えて行きたいと思っております。3点目は、実車の展示です。こちらは、JRからの協力が必要ですが魅力ある実車を展示していきたいと思っております。4点目は、ジオラマゲージの展示を見直していきたいと思っております。現在は大きなHOゲージですが先日Nゲージを1つ市民からの提供が有りまして寄贈して頂きました。こちらの二つのゲージを修理、あるいは見直し、新津や新潟市らしいジオラマゲージとしていければと思っております。

(2)の③ですが鉄道の最新技術の紹介を行うですが産業としての鉄道を紹介する為に、情報や資料の収集に努めて新しく分かりやすい展示にしていきたいと思っております。特に新津・新潟の鉄道資料の展示を行ってきたいと思っております。具体的には案としては五つほどございますが1つ目は、上越新幹線です。2点目は、新津車両製作所です。3点目は、鉄道貨物です。4点目は、ばんえつ物語号です。5目は、その他で目的達成の為の必要なブースを設置していければと思っております。

(2)の④ですが鉄道文化に関心を持つ人達を新たに獲得していく、の所ですが新津・新潟にまつわる鉄道に関する文化や生活・技術を調べさせていただいて、その成果を定期的に企画展や特別展を実施し、紹介していければと思っております。具体的な事業としましては魅力ある特別展を実施していきたいと考えています。こちらは、どうしても資料館単体では非常に難しい特別展ですので、鉄道関係組織・鉄道関係企業や鉄道財団等と連携して鉄道の特別展を開催していきたいと思っております。また、新津・新潟にまつわる鉄道に関する調査をおこなって資料を展示したいと思っております。(2)の⑤効率的なマネジメントを実施し行きたい、は、資料館の魅力発信やイベントなどの企画、さらには施設の管理運営を支える組織づくりと予算確保を図ると共に、行政と地域が共同して新しい資料館の魅力づくりを行っていく関係の構築を進めます。案は3点です。1つ目は、資料館の管理運営の体制づくりを行ってきたいと思っております。今、資料館は管理人さんが1名しかいませんので館長及び専門職員、事務職員など配置して企画事業や管理運営の効率化を図ってきたいと思っております。2点目は、施設運営の予算確保です。魅力ある企画展示や快適な施設環境を実現する為の予算確保。これは、行政に対する確保になります。3点目は、地域と密着した企画展示を行う。鉄道関連団体と企画展示を行うことで、地域の人材活用とした資料館運営に活用して活性化に取り組んでいきたいと思っております。

(2)につきましては以上です。

金山座長

はい、ありがとうございました。今の(2)につきましてそれぞれの事業内容について詳しく

	<p>出していただきましたけれども。はい、佐藤委員。</p> <p>(2)の①鉄道の記憶をたどるのですが、歴史と生活文化の記録ですか。</p> <p>(2)の①歴史については前回の検討会で記憶が良いという話しになったんですね。</p> <p>歴史というと何年に何々鉄道が開通したとか年表みたいな歴史展示がイメージされるんですが、記憶というのは新津の人達や新潟の人達が鉄道にまつわる当時の思い出を感じるというイメージが込められているんですよ。だから、展示は歴史的だけれども目的は知識としての歴史を提示するものではなくて思い出を辿るところです。それで、記憶という言葉にしたんです。</p>
佐藤委員 金山座長	<p>言葉は、鉄道に対し新津・新潟に関する鉄道の思い出を辿るでしょうか。</p> <p>趣旨はそうですね。</p> <p>ジオラマゲージという言葉のニュアンスでイメージがよく湧かないのですが、本来ジオラマとは言わないですね。ジオラマという言葉は模型鉄道の運転する場所の表現に使われる様になりました。</p>
佐藤委員	<p>ジオラマゲージという言葉のニュアンスでイメージがよく湧かないのですが、本来ジオラマとは言わないですね。ジオラマという言葉は模型鉄道の運転する場所の表現に使われる様になりました。</p>
里見委員	<p>言葉がジオラマではないですね。ゲージは、ジオラマとパノラマの言葉の使い方が良く分からない。</p>
金山座長 里見委員	<p>言葉が混同している。</p> <p>本来あれは、パノラマなんですよ。ジオラマはある一つの方向から見せる遠近法の手法を使うもので、パノラマは全体を俯瞰するとか、360°見渡せるようなもので、本来なら私は、あれはジオラマでなくパノラマだと思っているんですよ。一般の方の言葉としてジオラマと云っちゃってるんで良いかなと思うんですが、本来的な理解でいうとジオラマの語源とパノラマの語源から区別して言うとあれはジオラマでないんですよ。</p>
金山座長 事務局:水澤	<p>言葉は、変わりますからね。年月によって変わります。ジオラマではないですよ。イメージでジオラマと思い込んでいました。</p>
金山座長	<p>イメージはしょうがないですよ。これは、どういう言葉が適切ですか。南雲委員。普通の人と聞いて、なんだか堅いですか。</p>
南雲委員	<p>私は、そこら辺のことは正直よく分かりません。どちらでも、分かり易い言葉でやっていただければよろしいかと思います。</p>
金山座長	<p>旧新津さんでは模型ですか。鉄道模型の感じですよ。</p>
佐藤委員	<p>ジオラマの言葉を使うなら鉄道模型ジオラマですね。</p>
金山座長	<p>鉄道模型ジオラマそれなら通じる訳ですね。</p>
佐藤委員	<p>そうです。</p>
金山座長	<p>鉄道模型ジオラマ。</p>
里見委員	<p>私は、パノラマが良いなと思いました。</p>
金山座長 事務局:水澤	<p>ジオラマかパノラマか言葉の変化によって資料館では今何と呼んでいるのですか。</p> <p>ゲージと呼んでいます。ただジオラマとパノラマの違いを私に今教えて頂いたんですが新津・新潟を再現出来るということでジオラマかなと思ったわけですが、ジオラマゲージは、</p>

<p>金山座長 事務局:水澤 金山座長</p>	<p>造語でもよいかないと思っていました。 専門家の意見は、パノラマだそうです。 勉強になりました。</p>
<p>里見委員 金山座長 事務局:水澤 金山座長 南雲委員</p>	<p>言葉って変わる。今の人達が分かりやすい言葉にすると鉄道模型パノラマ。では、説明のほうもジオラマ展示でなくパノラマ展示で新潟らしいパノラマ、模型パノラマとすれば良いですね。里見委員どうしますか。 鉄道模型パノラマでよいと思います。 鉄道模型パオラマ。よろしいですか。 ありがとうございます。</p>
<p>金山座長 南雲委員</p>	<p>それでは、他になければ先に進みます。ありますか。はい、南雲委員。 鉄道の(2)の①のところの話ですが、しつこいようですが旅行とか観光とかいうと大体が季節のものが有るんですね。季節を意識して商品を作るんですね。観光とかデパートとか。新しいファンの獲得というとどんなあたりの層を獲得していこうかと良く分からないですけれども。観光旅行というと一番元気なのは50・60・70代の女性ですね。それと鉄道がどうリンクするか分からないですけど例えば、私嬉しいかったのは新潟・新潟らしさとか个性的で魅力有るとかの言葉が入ったのが嬉しいですけど、例えば鉄道で四季があるとしたら新潟とか除雪とか機関車というのとか、新潟らしいといえは遠方の方は雪と想ったりするので季節感を表す言語が鉄道にはあるんですか。</p>
<p>金山座長 南雲委員</p>	<p>具体的に言うと。 新たに季節を意識した展示が出来ないかなと思います。冬の除雪の大変さとかなんだろう。昔は手で除雪をしたとか、除雪にはこういう物も使ったとか何か有ったら季節を意識すると。新潟らしさ新潟の特徴は四季がはっきりしているところが魅力でも有ると思うので、何かそういう雪に関する物が良いのか分かりませんが有れば良いと思うので、季節を意識したイベントを打つとか常設にするのか分からないのですが、季節を意識するとお花見列車とか分からないですけどもあれば良いと思います。</p>
<p>里見委員 南雲委員</p>	<p>歳時季展示ですね。それぞれの季節によって民俗であればそういう展示はします。 観光には季節が大事な要素ですので常設で行うかどうか分かりませんが、季節にイメージ出来る様な展示が有っても良いのかもしれないですね。</p>
<p>里見委員</p>	<p>県内の他の資料館や博物館に行くと、ふるさと村では雪を降らせていたり、県立博物館に行くと雪の雁木を再現していたり、十日博物館には縄文人が昔雪の中でどう住んでいたか雪を降らしていたり再現したりして結構雪の展示が多いです。それがどう鉄道とリンクするか私には、思いつかないんですが。 ミュージアムショップなどは良いですね。ミュージアムショップで商品を開発して、桜の季節だと桜に関するいろいろなグッズが販売されるようにする。ワシントンの桜美術館の場合などは浮世絵の展示と共に、ミュージアムショップでは日本の桜のTシャツが正面にあたり売っています。企画展に合わせて商品を開発する工夫などが行われ、人は集まりやすい、そういう意味がありますよね。</p>

南雲委員	私は湯沢町でガイドをしているんです。湯沢町の町史とか読むんですけど、雪の大変さとか非常に書いてありますし、上越新幹線はとても雪に負けない非常に優秀ですごく書いてありますし、昔の女性の大変さが書いてあったり新津らしさという雪が良いのか何が良いのか分からないですが季節の(観光?)模型にあつたら良いと思います。
金山座長	事業内容の3番目に新津・新潟の歴史、生活文化文化と出てますね。今おっしゃったのはここの所に該当すると思います。それを展示に起こしていくと雪というのが出てくると思います。自然にそういう場面が出来てきますね。道具何かはありますよね。
佐藤委員 事務局:狩谷 里見委員	特に東京から見ると新潟は雪をイメージしていますね。今も除雪コーナーはありますよね。はい。 除雪の展示を沢山は良いかなと思いますよね。沢山だと新津で大事な品物、現在の物か昔の物か。分からないですけど、今、ラッセル車が出ることは殆んどなくなりましたね。ラッセル車そのものがなくなりましたね。過去の記憶を伝える意味でもそういう雪に関するコーナーが常設展であると良いかなと思います。いま南雲委員が言われたように四季の展示は有っても良いかなと思いますよ。新潟の四季が今ひとつ分からないが、長岡とか加治川の桜とか花火とかの景色とかいらぬですか。特別展に活きるのかと思いますけれども。たぶん雪に関してはきちっと常設展示をした方が良いですね。
金山座長 佐藤委員	どうですか。無ければ。 ④と⑤の中に言葉として企画展と特別展と企画展示があるんですが、それをきちっという定義と言うと堅いですがどういう風に使い分けしているか伺いたいです。
事務局:水澤	企画展というのはいわゆる資料館と関係団体の方々と展示会的な事業をイメージしているんですが、企画事業ですと企画展も入るかもしれませんがイベントですね。たとえば外での野外イベントであり、先程南雲委員が話されましたが日本の駅弁大会です。鉄道に関する事業全般のことかなあと思っています。特別展に関しては正直資料館では手に負えない様な展示だと思っております。鉄道文化財団さんとの共同事業はいかがかと思っています。
金山座長	先々週ですが東京に出張に行ったときに新橋の資料館の2階に鉄道文化財団が福島磐越西線の福島の企画展をやっています、ああいう風な特別展という形で資料館でもやれないかなあと思っております。企画というのは資料館の職員と地元の人達で知恵を出して手作り風で出来るもの、特別展はお金を出して引っ張ってくる事業という考え方をしていました。
金山座長	回数まではここで決めなくて良いと思いますね。 企画展は市民協力型で実際には新津に沢山のコレクションをお持ちの方もいらっしゃいますし、鉄道友の会の団体の方が鉄道に詳しいということで協力していただければいろんな切り口で館に協力して展覧会を開催できますね。特別展については、外から持ってくるとおっしゃったけれども他の鉄道博物館との連携ということで他が企画した展覧会ということですね。
佐藤委員 金山座長 事務局:水澤 佐藤委員	企画展示という言葉はあまり使いません。 企画展ですよ。 失礼しました。 文書内にもね。

事務局:水澤 佐藤委員	文書内にも要りませんね。 というのも企画展・特別展の使い方が博物館ではかなり違うので、企画展は小規模で特別展は大規模でというのはあるんですけども館によって使い方が違うので受け取り方が違うと困ったなあと思って確認したんですね。鉄道博物館は全部企画展です。
事務局:水澤 佐藤委員	そうですか。特別展はやっておられませんか。 大きくても小さくても企画展という形です。 館ごとに違うというか組織毎に違うので統一した認識がないかなと思います。
事務局:水澤	よろしいでしょうか。企画展のイメージは地元の団体や市民と協働で月に1回くらい、特別展については年に1度か2度、大掛りに長期的にやれば良いなと考えています。事務局としての勝手なイメージです。
佐藤委員	定義づけは無意味なことで、資料の説明のところに地元の人と企画展を行います。これで大きさが分かるかと思います。
金山座長	企画展の考え方と特別展の考え方を説明のところに追加して下さい。
里見委員	マネージメントの欄に入っているんですがこれは4番の説明の所にいっちゃって良いのでは。
金山座長 里見委員	これは事務局でこれをここに入れた理由は。 4番の説明のところに入れたら良いですね。
事務局:水澤	よろしいでしょうか。効率的なマネージメントを行うという欄に入れたのは資料館の魅力をうまく引き出すことでのマネージメント事業の位置付けの考え方で入れたのですが、④に特別展と変更しても良いのかなと気がしますが一応企画な物ですから地元の人たち、あるいは鉄道関係企業との連携ということでマネージメントという欄に入れさせていただきました。
里見委員	企画展というと違和感が有りますね。これは地元の人達の協力を得るとか……。
金山座長	協力を得た事業を行うとか。
里見委員	広い意味にすると良いですね。
金山座長	その人達の協力を得た事業を行うとかそういう文言にしたらどうでしょうか。
事務局:水澤	それは、事業内容の所のマネージメントの⑤の三段目の最終行の地域と密着した企画展示を行う、を入れ替えて。
金山座長	入れ変えなくても良いですよ。
事務局:水澤	入れ変えなくても良いですか。
金山座長	それを活かしながら地元の人協力を得た事業を行う。新津地域の市民と限定しないで。
事務局:水澤	共同して事業を行う。
金山座長	説明の所も地域団体・鉄道関連団体と企画展示を行う。
事務局:水澤	協働事業とか。
金山座長	「協働」して事業を行う。「共同」ではなくて協力を得て事業を行う。「共同」はハーフトウハーフの関係です。よろしいですか。
事務局:水澤	分かりました。

<p>金山座長 事務局:水澤</p>	<p>他になければ進めてください。お願いします。</p> <p>(3), 人づくりと地域の連携による事業を展開します。について説明します。</p> <p>①鉄道文化を学ぶ学校教育を支援する。方針に対しての内容ですけれども、地域文化と鉄道文化を後世に残して活用して行く為に学校教育と連携を深めていきたいという風に考えております。歴史や知識をインプットして、それを学ぶ子供たちが新たにアウトプット事業を学校事業の中で実施していければいいかなあと考えています。案は3点です。1つ目は、学校教育における施設活用を支援していきたいと考えております。地域文化を学ぶ学校教育の場として資料館の活用を行って頂きたいと考えております。その為にも各学校と連携して子供達の年齢に合わせた学習カリキュラムを作製していきたいと思っております。2点目は、学校授業等に出前鉄道資料館を実施していきたいと思っております。職員が学校や地域に出向いて鉄道に関する文化であったり、歴史とかをお伝えできればなあと思っております。3点目は、地域文化と鉄道文化の継承と人づくりです。子供達自ら資料館に来られる、来館者の方々へ鉄道資料館ジュニアガイドあるいは駅中心とした町歩きの際にも鉄道のまち歩きジュニアガイドという事業を支援していければと思っております。そういうジュニアガイドのイベントとかまち歩き事業の際に活躍出来る場を設けたいとか、地域文化を学習継承発展する人材をこのような事業を通しながら発掘して行きたいと思っております。</p> <p>(3)の②ですけれども地域の市民企業と鉄道文化施設との連携を強化していきたいと思っております。運営方針ですけれども、地域の各種鉄道団体や企業と連携して鉄道文化の魅力をイベントや企画展示で紹介したいと思えます。鉄道のまちづくりや地域活性化の視点でも捉えて様々な切り口での事業を取り組んでいきたいと思っております。案は3点です。1つ目は、まちなかに鉄道をキーワードにした仕掛けづくりをしていきたいと思っております。新津駅から資料館への導線上にある商店街と連携してフォトパネルだったり、フォトシールだったり、モニュメントであったり、ストリート・ファニチャーということで、中々パット見たら気が付かないが仕掛けがあり、鉄道をキーワードに市民の方々が自分たちで何が出来るかを探っていければと思っております。2点目は、商店街・市民のもてなし活動を支援していきたいと思っております。特にこれから夏場になって来ますと地域を通られる方々に対して、例えばおもてなしの活動のお茶とかお声がけとかそういう所が市民、あるいは商店街で出来れば良いなあと思っております。3点目は、鉄道資料の収集ということで鉄道関係企業や鉄道関係財団・市民等から鉄道資料を更に収集して魅力的な資料館づくりを進めていきたいと思っております。</p> <p>(3)の③ですが鉄道文化と地域の文化を担う人づくりを行うですが、運営方針の内容としましては新津という地域は西の米原・東の新津と昭和の時代に東の鉄道の要衝地であった訳ですけれども、そういう時代があった事すら埋れてなかなか見つけることが出来ません。しかし、地域資源で有ると捉えていくことで自分たちの鉄道の歴史と文化を見つめるきっかけになりますし、掘り起こし自ら学んでインプットした後に次にシティガイド等のアウトプット事業に取り組んでいければと思っております。その過程で、地域の誇りと活性化とあらが街は鉄道のまちという自覚がもてるのではないのでしょうか。事業の案としては2点です。1点目は、地元市民による鉄道シティガイド、これは仮称の会、ですがその設置と支援と連携です。2点目は、地域の鉄</p>
------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>道関係者による鉄道資料館友その発足の支援と連携を図っていきたくて思っております。特に地元の鉄道関係者組織は幾つも有るのですが全て単体で動いています。このところが鉄道のまちといってもなかなか市民に伝わらない一つの大きな原因ではないかと思っておりますので、この組織を横断的に繋いで行く。その辺の役割りを鉄道資料館が担っていければ良いかと考えています。そして様々な人に対応すると共に地域あげての鉄道の町作りが出来るのではないかと考えています。具体的な横断の仕方については情報交換と意見交換、あるいは協働の事業が柱になるかとイメージしています。以上です。</p>
金山座長	<p>はい、ありがとうございます。(3)のところは①②③と有りますが学校関係はこれまで無く、学校支援も全く無かったわけです。学校も鉄道資料館に対して認識がないということですからそれを踏まえてこういう事業を展開して行こうという事ですね。はい、佐藤委員。</p>
佐藤委員	<p>(3)の事業内容の③の収集ですが趣旨としてはここに有ってもおかしくないですが、本来的には(2)という気がします。資料館が資料を収集するということは博物館の業務のひとつかなという気がしますので、地元や市民からというのでここに入れたと思うんですが、博物館あるいは資料館として必要な作業ですから、もっと上位の項目がいい様な気がします。(2)の①辺りかなという気がします。②に入れるかですね。</p>
金山座長	<p>(2)の①の鉄道の記憶をたどるのですか。</p>
事務局:水澤	<p>(2)の⑤効果的はマネージメントの中の柱、マネージメントになりますでしょうか。</p>
佐藤委員	<p>鉄道資料館としてどう考えていくかですね。</p>
金山座長	<p>ぴったりするのが見あたらないですね。</p>
佐藤委員	<p>とにかくここでないような気がします。</p>
金山座長	<p>(2)の①が近いですね。(2)の①の4番目にしますか。みなさん、よろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>いいかと思えます。</p>
金山座長	<p>決定ではなくて一旦ちょっとそこへ動かして落ち着きを見ましょう。</p>
里見委員	<p>(3)の①学校教育の関係ですけれどもこの計画の中には学校教育リンクというのが掲げられますが、なかなか具体的に実現される場合が少ないですね。先生が生徒を引率できる環境を整えるということが大事で、子供の安全性とかそういうことであえてリスクを負わないということで連れてこないですよ。来させる為には、仕組みや制度をきっちりとやらないと先生は連れてこないですよ。連れてこられる様な環境を整備してあげることが大事なことです。それから、もう一つは学校の先生が博物館や資料館の見方が分からない。どうやって案内したら良いか分からない。まず、学校の先生の教育が必要で先生に博物館はこんなに楽しいというような、したがって先生の教育の為の共同で行う作業やプログラムを作るというのも大事じゃないかと思えます。そう意味では今日本で進んでいるのは岐阜県的美濃賀茂ミュージアムがあるんですけども、そこは非常に学校とのリンクは素晴らしいですよ。そういう所にヒアリングをされてどういう風な上手い仕組みを作っている事をご参考にされるのも良いかと思えますよ。なかなか言葉だけでは実現していない所が沢山あります。</p>
金山座長	<p>美濃賀茂は教育センターを併設していて学校の先生が博物館の中に何人も配置されてい</p>

	<p>ます。それで、学校教育の一部として博物館で学習をするのが組み込まれている。だから一日来て午前中やってお昼も食べて午後また体験学習するような仕組みとしてきちっとして浸透しているんですね。博物館が専用のバスを持っています。</p>
<p>里見委員 金山座長</p>	<p>美濃加茂と同じようなことは無理かもしれませんが、色々のやり方はあると思いますよ。これはやりがいがありますね。なるべく実現する様をお願いいたします。周辺の学校、特に新津の学校が資料館に来てもらえる様な仕組みを里見委員がおっしゃったような仕組みを作っていた良いでしょうね。</p>
<p>事務局:水澤</p>	<p>これからの社会を担っている新潟の子供たちが、鉄道の文化に触れる機会が1回もないのは問題です。</p>
<p>金山座長</p>	<p>里見委員がおっしゃったように学校は、こちらから働き掛けていかないと向こうからは来ませんよ。待っていては来ません。</p>
<p>事務局: 金山座長</p>	<p>バスで迎えにいかないと駄目ですか。 バスで行けば来ますよ。何をしても移動手段が無いということでそれを理由にしますよ。</p>
<p>南雲委員</p>	<p>私は、湯沢中学校で観光ガイド養成講座をしていて観光のお客様の前に子供たちを仕上げることをしているんですけども、非常に観光と教育の結びつきの狭間に立たせられておかしいなと感じているんですね。観光課と教育委員会の連携が出来るかどうかですね。教育委員会にお願いして学校教育は上から下ろすと早いですね。教育の世界は縦型だと感じています。是非実現していただきたいですね。</p>
<p>金山座長</p>	<p>先のことですね。子供達の為ですからよろしく願いいたします。プランの方はこういう形で示させていただきましたがいかがでしょうか。</p>
<p>南雲委員</p>	<p>しつこくてすみません。シティガイドの件に付いてですけど、先程申し上げたシティガイドの所で誇りや愛着と書いてあるんですがこれがシティガイドには危険なワードなんですね。誇りや愛着を持つゆえにコアになりやすくて一般の観光のお客様と一緒に遊んで上げられることが無いので、私が先程から気に入っている魅力的に伝えることを学んでいかなければならないので、ここに愛着を既に持っているのではないかと思います。地元の方々には愛着はちょっと危険な感じがするので、資料を掘り起こしながら自ら学び魅力的に伝える人材育成で活性化に取り組むとか何とか、むしろ誇りや愛着が邪魔になるということが有るのでいかがでしょうか。</p>
<p>金山座長</p>	<p>この案で行くと地域の歴史や文化を掘り起こす中から自ら学び魅力的に伝える人材育成の活性化にと言うことですか。後の文章は要らない。</p>
<p>里見美委員</p>	<p>この前提は既に説明が出来る人や詳しく出来る人ではなくて、一般の人で地元の歴史がよくわからないしどこに魅力があるか分からない。一般の人が、町を自ら多少知ることで町への愛情が湧いてくるという風に僕は解釈をしたんですが。</p>
<p>南雲委員</p>	<p>そうですね、私もそう思います。どういう人がシティガイドになるか分かりませんが、やっぱり決定的に多いのが60代の男性ということを見ると既にそこに鉄道に関しても愛着が有ると</p>

	<p>思うので、不安から魅力的に伝える技術というか、一方、下の鉄道関係者による友の会というのは誇りや愛着がコアな部分で良いと思うんですけど、「もっと軽く遊ぶ」の要素といたら可笑しいんですけど、お客さんとコミュニケーションが取れるという人材育成で、学芸員を育てる訳でなくてお客様とコミュニケーションが取られる人と、どう言ったら良いか分からないのですが、ここに住んでいる人よりも遠方からくる方のほうが知識がずーっとすごいと思うんで、あまりにもシティガイドさん達が誇りを持ち過ぎると不一致が生まれてクレームの原因になるので魅力的に伝えられる、コミュニケーションがとれるということを書いていただけるとそこなんだよと分かると言うか、シティガイドさん達がもしもやりたいという人が現れた時に魅力的に伝えてくれコミュニケーションを取る人という内容なんだよというのを改めて意識させるというかしていただく……すごく勉強をしたがるんですね。いいことなんですが危険も感じるんですね。</p>
金山座長	<p>勉強をするということと知識を得るということとお客さんに対してのもてなしをきちんと出来る素養を両方かね備える人作りを今これだけだとデッサンだけなんですよね。知識をもって知識を養成する、そういう文言を入れていくということです。</p>
南雲委員	<p>この文章だととっても自己満足的な感じがするんですね。相手の為にして差し上げるということを文章にしたいなと思います。</p>
金山座長 事務局:水澤	<p>自分たちの、ガイド自身の魅力。ちょっとその辺は事務局で預ってください。 今の南雲委員のお言葉をお借りすると地域の歴史や文化、地域の資源を取り込みながら自らが学び地域を魅力的に伝える人材育成に取り組み活性化につなげます。するすると軽い感じが良いでしょうか。これはカッコ書きの中のインプットとアウトプットでしょうか。</p>
金山座長	<p>それはいらない</p>
事務局:水澤	<p>前書の所で。 直させていただきます</p>
金山座長 佐藤委員	<p>では、そのようにお願いいたします。 ③の2番目友の会仮称。仮称ならサポーターにした方がよい気がします。 利益享受や入ったら何か良いことが有るみたいな認識が日本にはあるので、友の会という組織ではなくてサッカーではサポーター、支える組織のイメージを与える方が良いかなと思います。</p>
里見委員(?) 事務局:水澤 事務局:狩谷	<p>ことばによるイメージにしたほうがいいのかなーと思います。 いいですね、サポーター。友の会というと……イメージがあるので。 秋葉区に石油の世界館と言うのが有りますがそこに石油の世界館友の会というのが有りまして、利益享受ではなくてボランティアガイドとして皆さん館内を案内して積極的に公演会を開いて、自分の石油文化の啓発事業を区役所と一緒にやっているという積極的な団体が有りましてそんなイメージがありまして書いたと思います。</p>
事務局:水澤	<p>石油と友の会の向こうをはって資料館友の会をつくらうかと思えます。</p>
金山座長	<p>サポーターが良いですね。そうしましょう。はい、ありがとうございました。他にどうでしょうか。3時近くになりましたので他になければ(その他)になります。前回と今日と合わせて2回協</p>

事務局:水澤	<p>議し現状の新津鉄道資料館の現状から新しく再生させていく為にミッションを作り直し、運営方針、事業内容を作成しました。これが実施できていければ鉄道博物館としては全国的にもかなり充実した博物館となると思います。</p> <p>最後に全国鉄道博物館展示リストがありますが事務局から説明していただけますか。</p> <p>先回話しをしましたがその時から空白の部分を埋め込んだのですが、全国に鉄道資料館を含めると60箇所鉄道文化施設というのがありまして、この一覧表になります。</p> <p>右側の方に空欄が幾つかありますが委員会を通して最終的には基本計画の中に埋め込んでいける資料作りをしていきたいと思っています。1点訂正がございまして右側の方から年間決算額がございまして各施設に決算額を聞かせてくださいと言うと回答拒否も含めて額を出してくださらないところが多いのです。出来れば年間予算額にしていただいて変更して調査させて頂ければ相手さんも額を提示し易いと思います。パブリックスペースということで欄を設けて有りますが小さな資料館が多くて畳10枚ほど無い資料館もありますと、共有スペース的なパブリックスペースがない多いですね。有ったとしても分かりません、計っていませんという所も多くてこれからメジャーで計ってきますという方もいらっしゃるやいまして、そう考えると拾い難い項目かと思います。そういう事で空欄になっている。この2点にご意見をいただけると助かります。</p>
<p>金山座長</p> <p>事務局:水澤</p> <p>佐藤委員</p> <p>事務局:水澤</p> <p>佐藤委員</p>	<p>公立館は穴埋めをしていただくと良いよね。</p> <p>公立館は答えが返ってきやすくて埋めている所が多いです。</p> <p>パブリックスペースの認識はどうですか。</p> <p>共有と言いますか休憩スペースで展示スペースでない部分です。</p> <p>展示スペースを入れたものがパブリックスペースです。バックヤードを抜けたスペースを共有と言いますか、ロビー・休憩スペース・トイレ・廊下・ミュージアムショップなどのスペースもいいます。</p>
<p>金山座長</p> <p>事務局:水澤</p>	<p>展示スペースを入れた利用者が利用出来るスペースをいいますよ。</p> <p>わかりました。認識違いでした。申し訳ありません。再度、聞き取りします。その他は大体拾いましたが目玉の展示が職員の私の勝手な思い込みで落としているのが多いです。もしかしたらセールスポイントとダブっていることもありましてご承知置きください。</p>
金山座長	<p>職員のところは、公立館だと職種の内訳が有った方が良いね。正職と臨時職と数。人をちゃんと配置して置かないと困りますので重要課題です。</p> <p>まだ時間が有りますから各委員から個別に意見をいただければと思いますが。</p> <p>企画運営のコメントをよろしいでしょうか。南雲委員、いかがですか。</p>
南雲委員	<p>お客様というのがどうしてまた来たいかと思えるかというとその施設にファンが付くのでなく、そこに居る人、地域の人や施設の人にまた逢いたくて人に付くものだという風に思っているの、子供の教育、小さい時から将来を担う観光の担い手を含めて人材育成をしっかりしていただきたいことと、1つ質問なんですけど鉄道博物館に来る年齢層と男女比がちょっと気になります。</p>
佐藤委員	<p>比較的多いのが子連れのお母さん、後は鉄道ファンいわゆるマニアですね。オープンから</p>

	<p>5年経ちましたが団体でバスで来ているということがあるので一時期女性の団体もありました。リピーターにはなりませんが一度は行ってみようという人が多いみたいですね。子連れのお親ないし両親が多く見受けられます。それが多いことは無いと思いますね。難しいですが、どうしても子供向けとか子供が喜ぶと捉えられちゃうんで、そういうつもりは無いですが今はこう言うお答えしか出来ないんです。</p>
南雲委員	<p>鉄道資料館の資料の中で一番の目玉になるだろうと思うものはなんでしょうか。</p>
佐藤委員	<p>佐藤委員の個人的でも良いですが。 館に有る物ですね。全てと思っておりますが一点を上げれば重要文化財の機関車ですね。明治5年に日本ではじめて鉄道が出来た時にイギリスから輸入された中の1両の客車が有りますけれどもこれが貴重でしょうか。それ以外にも沢山の資料が有りますし代表的なのといいますとそれだと思います。</p>
南雲委員	<p>新津の資料館の場合はなんでしょうか。</p>
佐藤委員	<p>新津で1つ上げるには難しく総体が魅力だと思います。すべて総合したあるいは混合したといっても良いですね。</p>
南雲委員	<p>自分達が持っている宝を意識してどういうお客様がいらっしゃるのかという所まで考えながら出来たら良いかなあとと思います。考えながらバランス良く出来たら良いかなあとと思います。持っている物とニーズが合わなければ面白いといっても可能性は低いので、自分たちが持っている宝は何かを意識してそれからどういうお客さまがいらっしゃるのかという所まで考えながら全体的にバランス良く事業展開が出来たら良いかなあと考えています。</p>
金山座長	<p>はいありがとうございます。では里見委員お願いいたします。</p>
里見委員	<p>1回目と2回目の委員会で全体の方向性が見えてきた様な、まとまって来たかなという感想を持ちました。これからの展示についてしっかりと考えていかなければと思っております。リピーターの仕掛けとか一般論で言えば自分が主役になるというのが良いですね。要するに子供なら子供、大人なら大人、マニアならマニア、いろんな価値観を持った人が沢山来るんで、全てに対応が出来ないとしてもそれぞれの価値観に基づく場であるという考えを基本に置くことが良いなと思っております。今後は展示の話に入ってくるいろんなアイデアが出てくると思います。展示の物語性についても展示のアート性も大事にしたいなと思っております。展示はサイエンスに支えられたアートで有ると思っておりますが空間全体が良い空間にしたいと思っております。先程、話が出ましたが、車でここに入ってきた時に目に飛び込んでくる大きな壁に鉄道のイラストレーションが書画してあったらアピールできるだろうと考えております。ぜひ良い鉄道資料館にしたいなと思っております。</p>
金山座長	<p>はいありがとうございます、佐藤委員お願いします。</p>
佐藤委員	<p>このような基本計画をきっちり作る事は大事だと思います。先程話したとおり具体的に文章に内容を明記する、カタカナは避けた方がいいと思います。大げさにいうとこの仕事をやっているが、何か迷った時にこの基本計画に立ち戻れば良いと思うんですね。 はっきり難しいなという地理的な場所がここに来るに他に道は無いかなと思いました。</p>

<p>金山座長</p>	<p>時計屋さんで鉄道時計を展示しているところが有ったんですけど、そういう所を駅から飛び石伝いに辿りながら来ると館に来ちゃう。町全体をミニ鉄道博物館としてサテライトでなくても良いかなと思いました。ここの資料は、量的には鉄道資料館が多いですが、質的にどうか種類はこちらが多いです。ただ、プランにある新津駅の再現なんかは魅力的な展示になるのではないかと思います。鉄道博物館には基本的なものはありますがもの細かいものは一部しかないですね。量は軽視され易いですが種類と量も資料として十分な価値はあると思います。主な展示施設リストに最近開館した横浜の原模型鉄道博物館が入って無いですね。項目が増えちゃって申し訳ないですが開館日が制限されているところが幾つか有るんですが、それはした方がいいかなと思います。月に数回開館している所もあるんです。日常的にオープンしていない所だけでもチェックした方がいいのかなと思っております。</p> <p>はい、私の方からは短期間でここまでミッション、運営方針、事業内容の案を固めることができてよかったと思います。これからは資料館を再生していく上での骨格になるので、これを基にして展示の内容とか施設の改修も進めていける。それから職員体制もあります。博物館は、職員がきちっと位置づいてしかもただ居るだけでなく博物館の顔役としてあの人がいるから是非行きたいといわれるような人の配置も必要になってくる。それから、駅前のサテライトの位置づけです。それをきっちと確保してそこに市民ガイドの様な人達が居て、そして資料館との交通のアクセスに貢献していく様なことこれからの課題になって来ます。先ずは一里塚に到達したかと思えます。次の段階に向けて各委員の皆様方のご協力をお願いしたいと思います。</p>
<p>拝野補佐 倉地課長</p>	<p>委員会から他の意見は無いということで事務局に戻します。よろしく願いいたします。</p> <p>熱心なご審議ありがとうございました。倉地課長の方から閉会のご挨拶をいたします。</p> <p>はい、今日でミッション運営方針に基づく事業の内容についてこと細かくご討議していただき、形になって来たかという感じがしております。再来週の7日に第3回の展示計画や設計、運営計画、集客の考え方等もっと具体的な多岐にわたって入っていくわけでございますけれども、全体に関らせていただきご協力をお願いいたします。本日は誠にありがとうございました。</p>